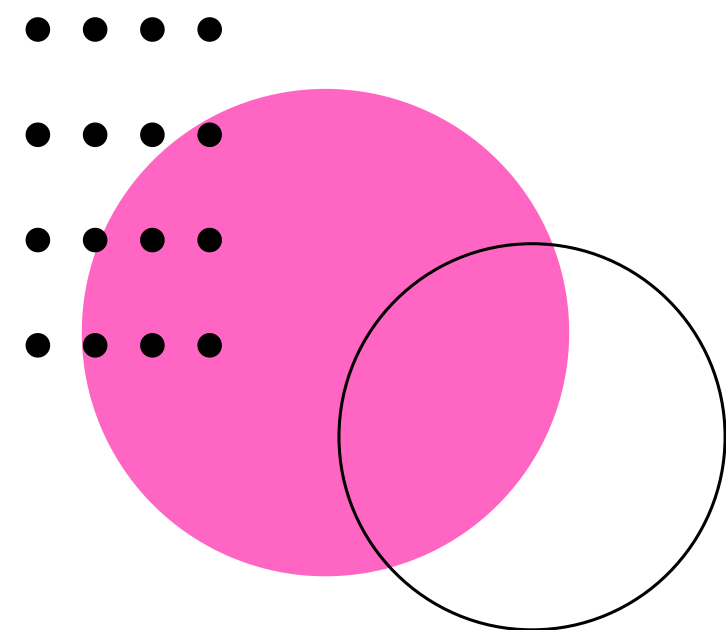




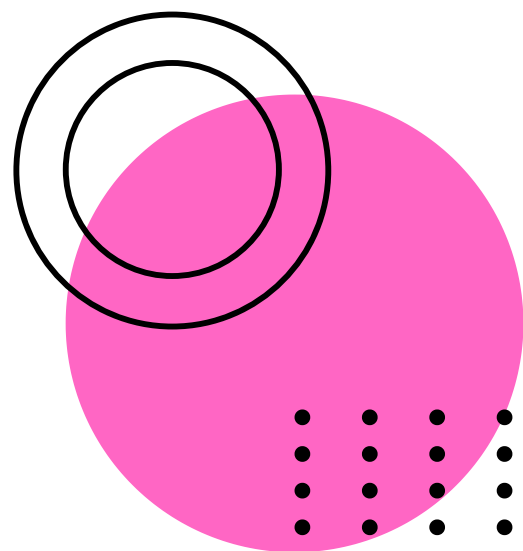
社会福祉法人 日本介助犬福祉協会

はじめまして！

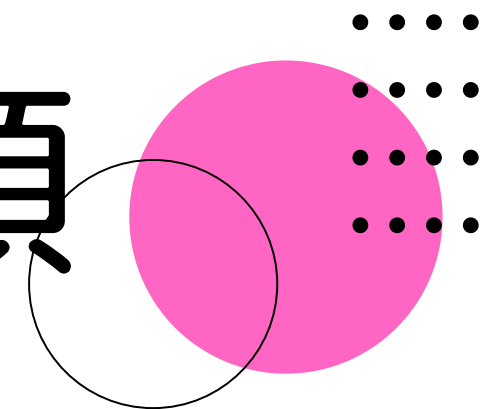


介助犬って知っ ていますか？

-なんとなくがスツキリ！-



補助犬という働く犬の種類



介助犬

身体障害者のために働く犬
手足、体幹などのサポートをします



HOJOKEN 盲導犬

視覚が弱い方のために働く犬
移動のサポートをします



聴導犬

聴覚が弱い方のために働く犬
周囲の音に反応し行動をサポートします



介助犬とは

WHAT IS

介助犬とは



1992年

介助犬が誕生

「介助犬」とは、手足に障がいのある方を手助けするために、特別な訓練を受けた犬で、日本で「介助犬」が誕生したのは、今から20年以上前の1992年。主に「物を取ってくる」、「物を運ぶ」、「ドアの開閉」「ボタンを押す」などの動作が基本となります。

誕生の経緯

HOW BORN

身体障害者
補助犬法



2002年

法律が誕生

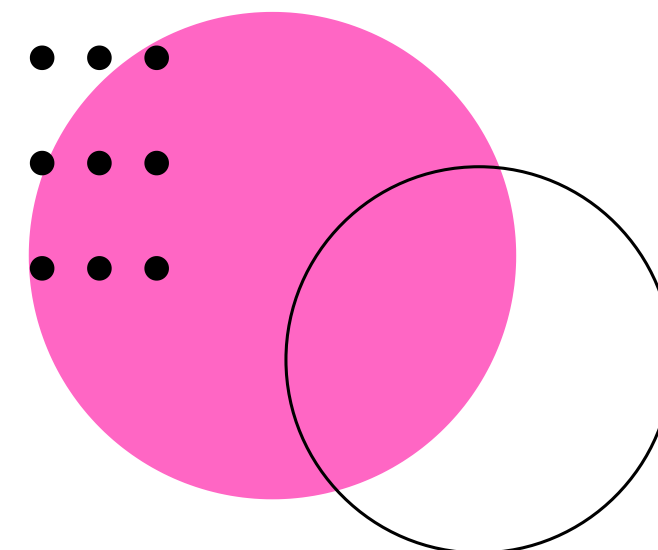
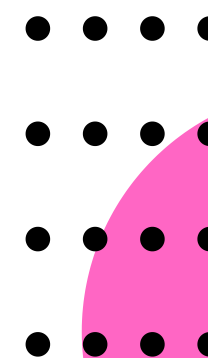
身体障害者補助犬法が2002年に施行されました。デパート・スーパー・ホテル・飲食店などの一般の施設や公共の施設、交通機関に、補助犬同伴を受け入れなければならないとした法律です。さらに2008年には、都道府県・政令指定都市・中核都市に相談窓口が設置され、一定規模以上の民間の職場での同伴受け入れも義務化されました。

介助犬の目的

THE PURPOSE



補助犬は、身体障害のある方の社会参加を広げるために誕生しました。社会参加に欠かせない大切なパートナーです。



障害のある方の社会参加を広げるために!

目や耳、手足に障害のある方をサポートする「ほじょ犬」は、社会参加に欠かせない大切なパートナーです。障害のある方が日々の暮らしをよりよく過ごせるような社会の実現を目指しています。皆様のご支援とご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

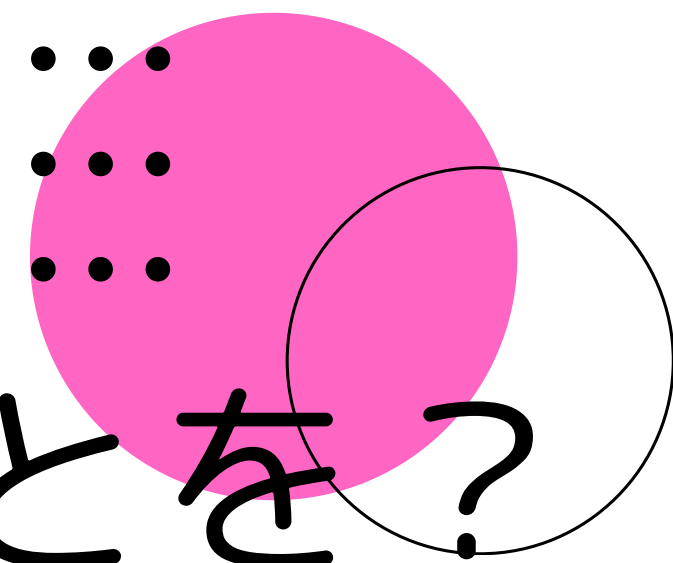
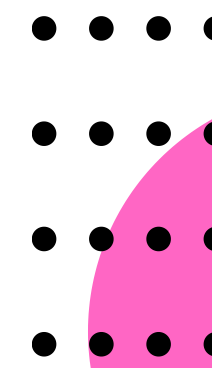
1 盲導犬
見えない、見えにくい人が安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角や段差を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけていて、「盲導犬」と表示しています。

2 介助犬
手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、脱衣の介助などを行います。「介助犬」と表示しています。

3 聴導犬
聞こえない、聞こえにくい人に必要な生活音を知らせます。玄関チャイム音、メールやFAX等着信音、赤ちゃんの泣き声、車のクラクション等を聞き分け教えます。「聴導犬」と表示しています。

(『ほじょ犬 もっと知ってBOOK(2019年版)』より抜粋)

(『ほじょ犬 もっと知ってBOOK(2019年版)』より抜粋)



どんなことを？

WHAT KIND OF

介助犬は、主に左の写真のようなことができます。また、一人で出歩くと人目が気になって怖い時や、物を落としても自分で拾えない時、車椅子から落ちた時など、遠慮してしまい気軽に助けを頼めないこともしばしば。そんな時に、介助犬がそばに居るだけでも大きな助けとなります。



ゴミを捨てる



電気をつける



ドアを開ける



着替えの手伝い

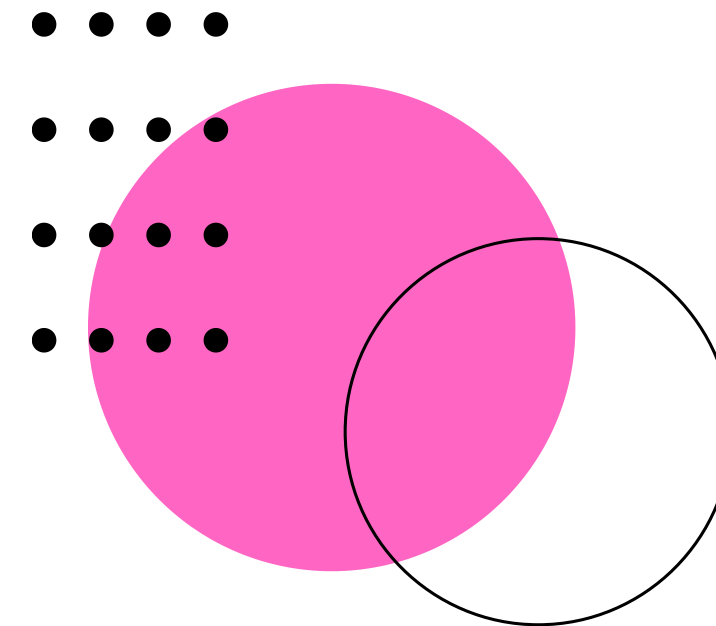


新聞を届ける



フタを開ける

介助犬のお仕事



夢と希望と勇気

DREAM + HOPE + COURAGE

介助犬は夢と希望を勇気を与えてくれる大切なパートナーです。動作をカバーしてくれると共に、大きな心の支えにとしても重要な役割を果たしています！



ユーザーさんの言葉

MESSAGE

自分が病気になるなんて全く考える事なく、仕事が楽しくて仕方がない時に難病を発症し、次第に生活に支障をきたす様になり、生きる意欲さえ無くなった時期もありました。そんな中、家族を始め周りの人の支えにより立ち直る事ができましたが、その反面、家族への負担が増す毎に罪悪感を抱くようになってきました。そして、ならばこれからをどう生きていくべきか思案に暮れるようになり、介助犬に助けてもらう事を思いつきました。その結果、たくさんのご協力を頂き念願が叶い介助犬を得る事ができました。



介助犬が不足

INSUFFICIENT

全国の実働介助犬は2024年4月1日現在で59頭です。介助犬を必要としている人は1,000人以上と言われていています。より多くの方に介助犬を届けるためには、もっと多くの介助犬の育成が急務です。身体障害者補助犬法施行により介助犬の活躍の場は広がりましたが、介助犬を必要とする方に情報が届いておらず介助犬の普及が滞っています。



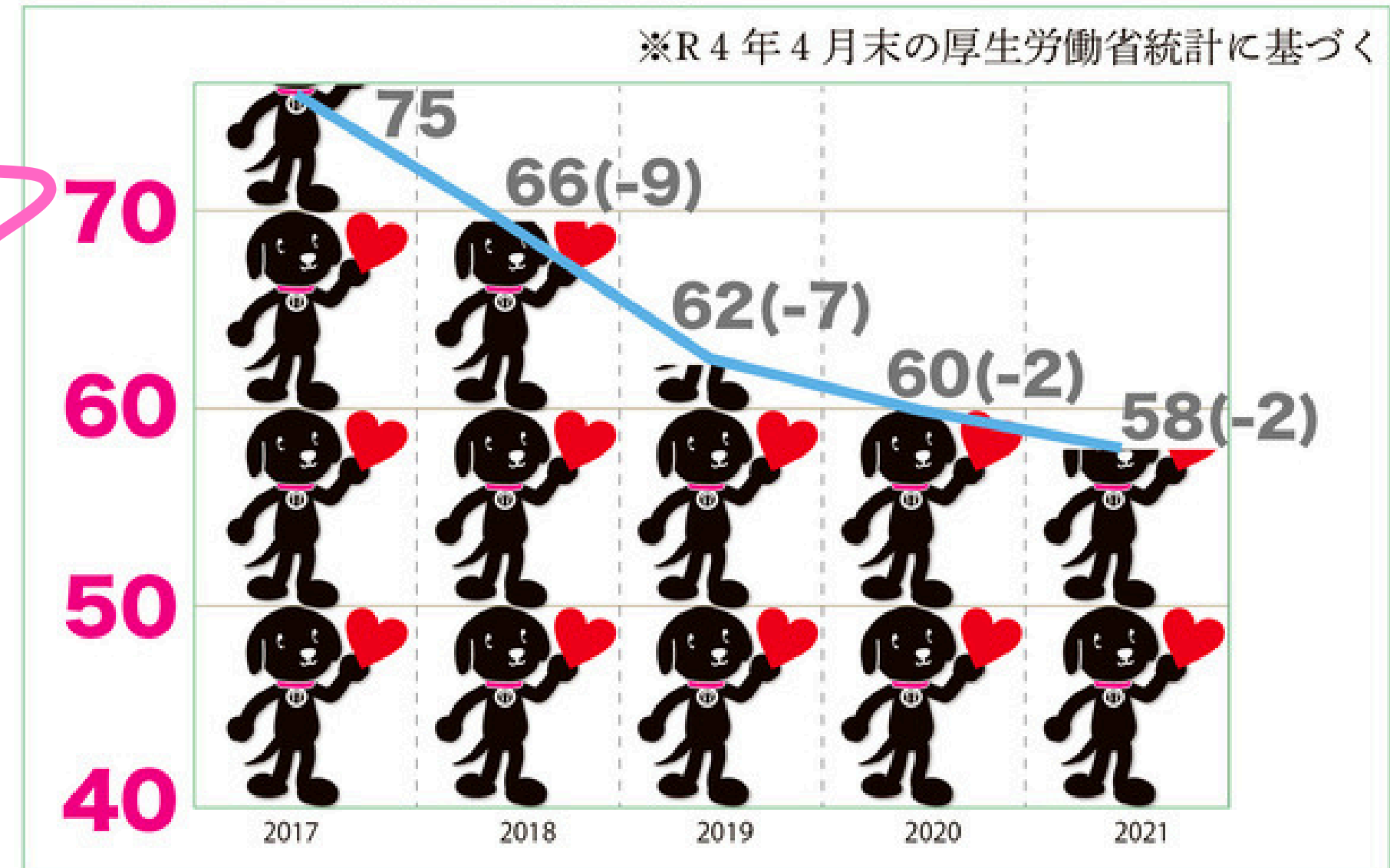
補助犬実働数

(R5.4.1現在)

2002年から始まった介助犬の制度ですが、2017年の75頭以降、数が減少しています。

減り続ける介助犬実働頭数（2017年から2021年までの統計）

※R4年4月末の厚生労働省統計に基づく

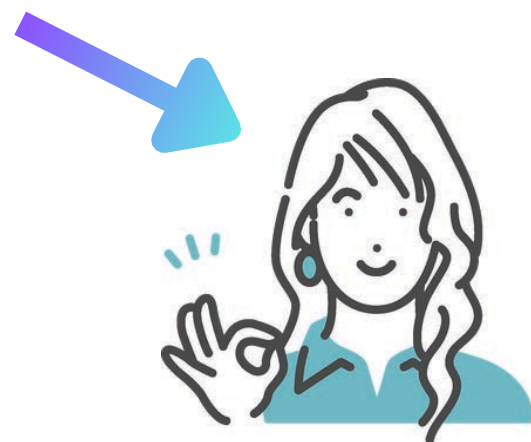
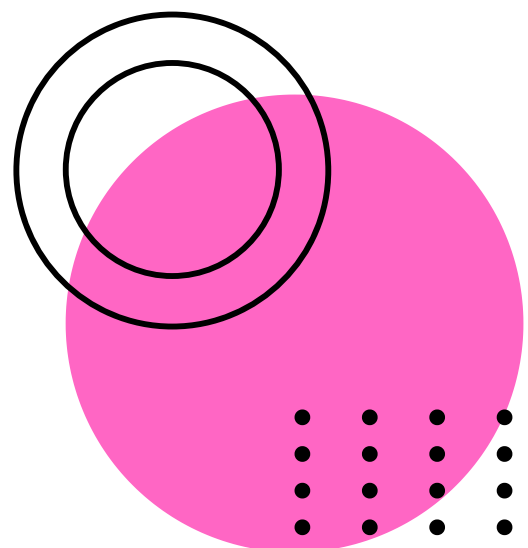
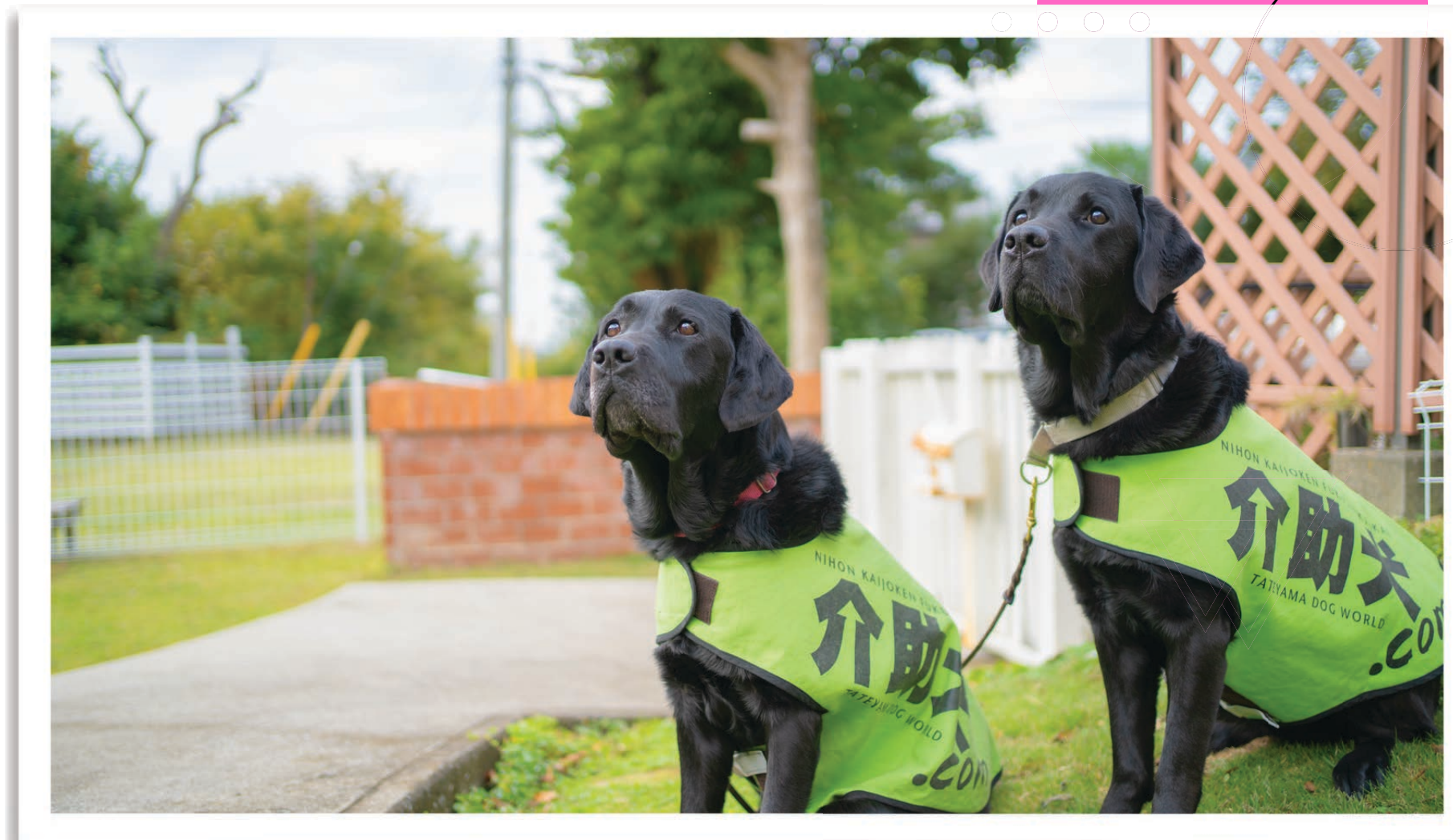
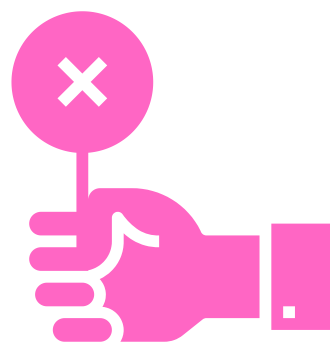


減少を食い止める

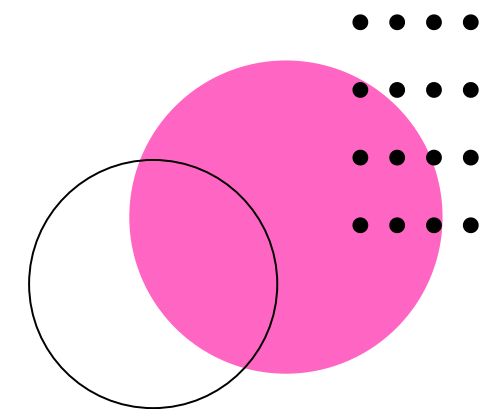
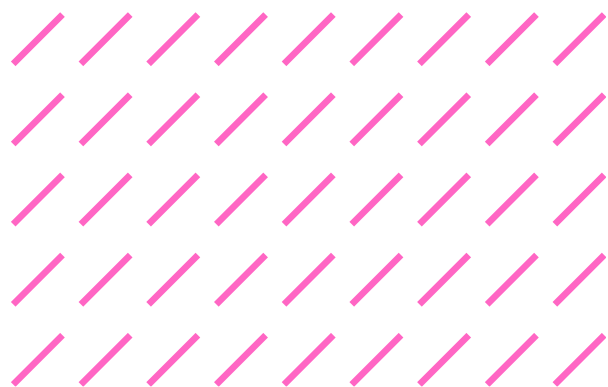
STOPPING THE DECLINE

減少の原因

- 1.活動資金不足
- 2.介助犬の認知不足
- 3.適用該当者への情報伝達不足



2と3の問題を解決できる存在が、
社会福祉法人 日本介助犬福祉協会公認資格の
介助犬導入相談専門員です。



介助犬は絶対に必要

ABSOLUTELY NECESSARY

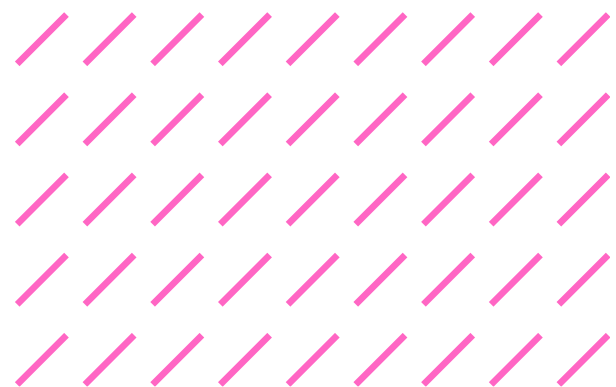
人間と動物の共生社会の実現

今後、介助犬は医療や介護の分野にもどんどん進出してくることが見込まれています。介助犬育成に携わる人たちは、真の共生社会（人と動物）を目指して介助犬と共に頑張っています。



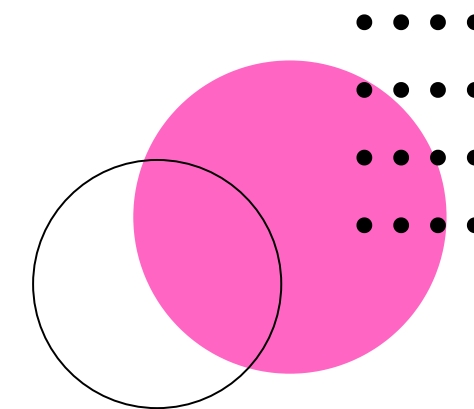
社会全体で支える

介助犬育成に携わる人たちは、介助犬使用者及び希望者各自の尊厳を保持しつつ、彼らが自立した生活を地域社会において営むことができるように介助犬と共にサポートしています。



お金について

ABOUT FUNDING



活動資金の約90%が 寄附金や募金

介助犬の事業も介護保険等から支払われていると思っている方も少なくありませんが、そういった支援はほぼ無いため、約90%の運営資金は募金や寄付金で賄われています。



1頭の介助犬 育成費用

介助犬1頭育てるには、期間にして1～3年掛かり、費用（訓練費、医療費、餌代、トレーナー人件費、施設管理費、一部の旅費交通費など）は約**350万円**掛かります。



介助犬は無償です

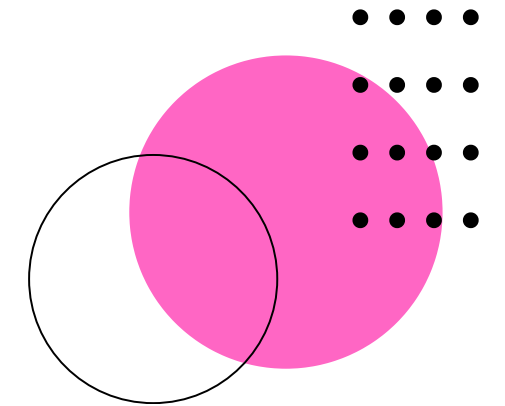
介助犬を育てて障害者の方にお渡ししても、販売料的なものは一切いただきません。介助犬を育ててお渡ししてもその育成費用はいただきません。原則、無償貸与です。





募金箱設置で応援してください！

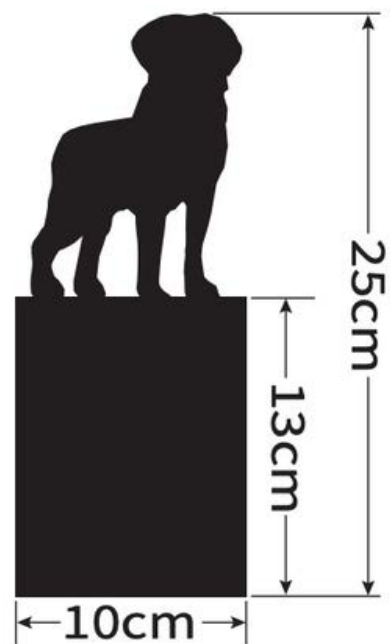
ABOUT DONATION BOX



今やキャッシュレスの時代！

募金箱なんてって、お思いではありませんか？

募金箱サイズ



実は、募金箱は今だに人気なんです。
子供への寄付募金教育にも役立つので親子連れの方にとっても人気があります。

また、近所の八百屋さんやスーパーなどで募金は結構いれてくださいます！

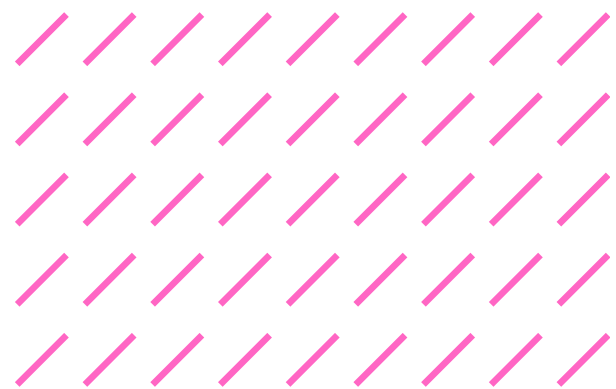
あなたのお店やオフィスにもカワイイ介助犬募金箱を設置して、介助犬育成募金にご協力をお願いいたします！

社会福祉法人 日本介助犬福祉協会の
ホームページから申し込む場合は>>>



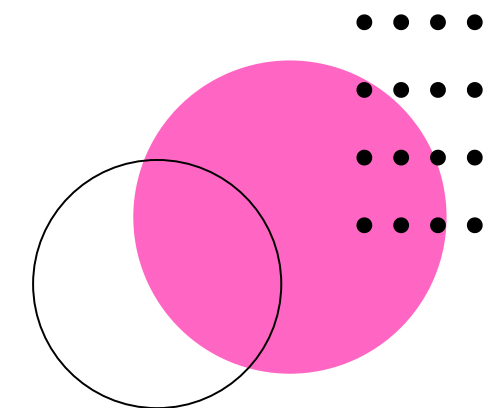
おすすめ！

<<<Googleフォームから直接申し込む場合は



寄付金で応援してください！

ABOUT DONATION

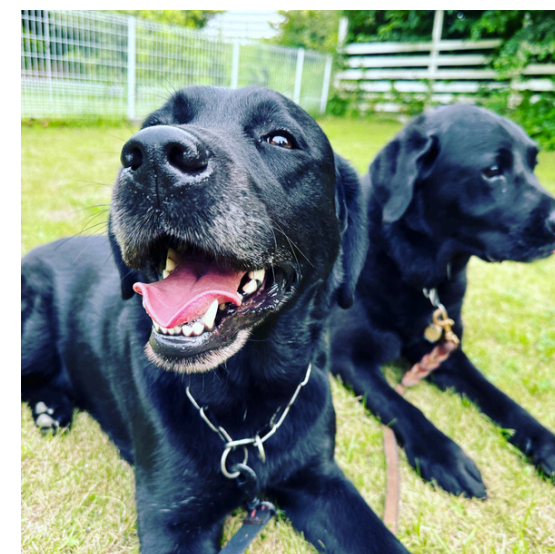


**私たちは、お預かり致します寄付金を確実に社会貢献へと繋げてまいります！
所得税控除にもなりますのでご活用ください。**

社会福祉法人 日本介助犬福祉協会は少ない費用でより多くの介助犬を輩出することができる様に常に努めております。コスパが最高です。とある団体と比較しますと、当協会は約1/10の費用で育成を成功させております。

皆様からお預かりいたします尊い御寄付を100%活かして社会貢献活動を進めてまいりますので、どうぞご寄付賜ります様心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 日本介助犬福祉協会のホームページをご覧ください！>>>



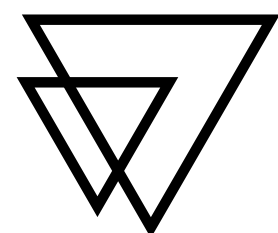
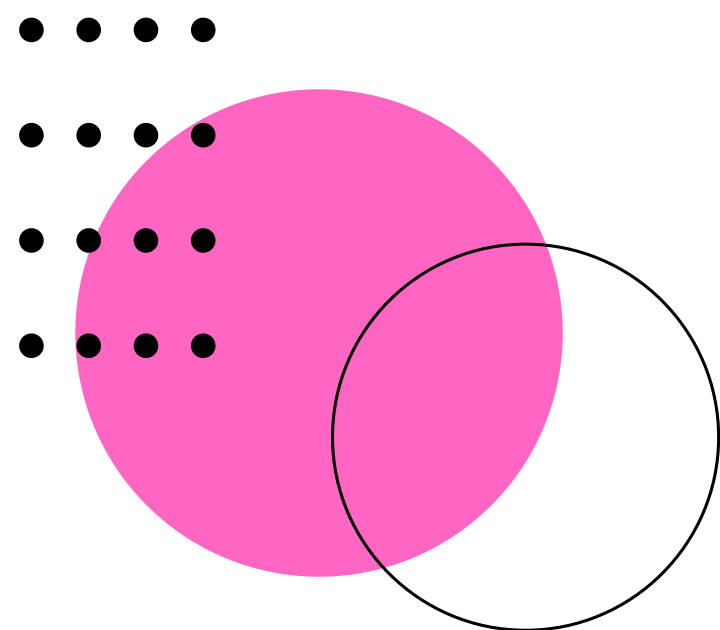
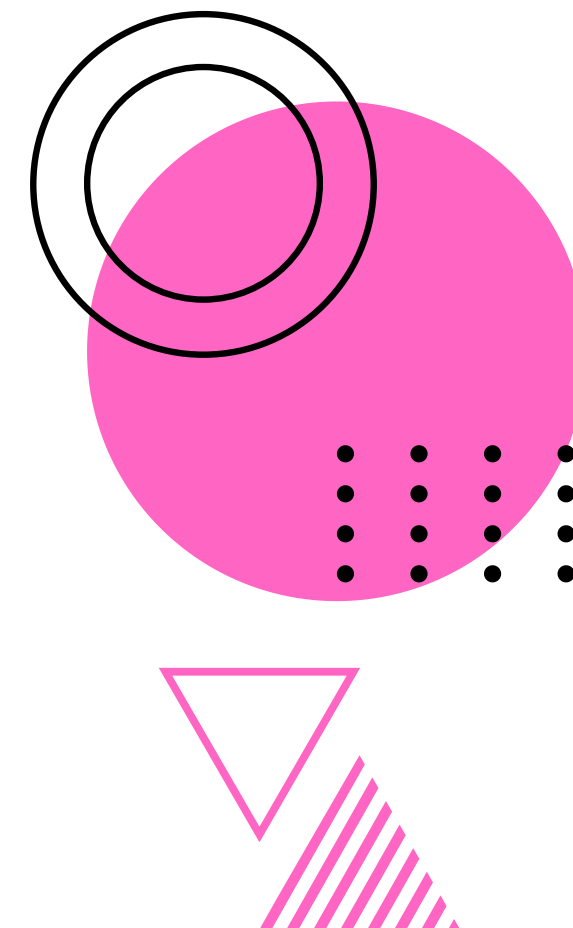
募金で応援してください！

ABOUT DONATION

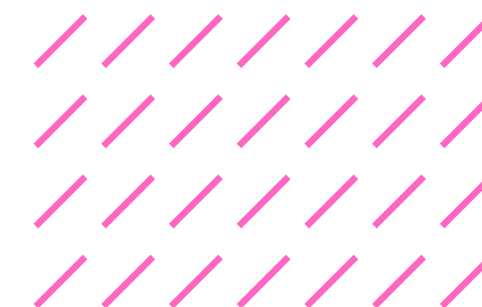
PayPayから直接募金ができます！

お好きな金額で募金してください。

※ただし、領収書の発行はできません。ご注意ください。



社会福祉法人 日本介助犬福祉協会
(屋号：TATEYAMA DOG WORLD)
〒294-0221
千葉県館山市布沼字平砂浦1210-122
TEL: 0470-28-5662





資料制作：

社会福祉法人 日本介助犬福祉協会

〒294-0221

千葉県館山市布沼字平砂浦1210-122

TEL: 0470-28-5662

ホームページ：<http://kaijoken.or.jp>

.....

.....

.....

.....

みんな
介助犬を
応援して
ください！

